

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ブロッサムジュニア上越大手町教室		公表日		年 月 日	
		チェック項目		工夫している点		課題や改善すべき点	
		はい	いいえ				
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	・活動内容や特性に応じて部屋を分けたりしている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	60%	40%	・特性によってはマンツーマン対応が必要なお子さんがあるため、他のお子さんへのフォローが不十分となっている。そのため、職員数は不十分と感じる。	・職員体制を見直すと共に、職員間で再度連携を行い、手厚い支援へと繋げられるよう工夫していきたい。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	80%	20%	・玄関から教室までの階段は、職員が必ず付き添っている。 ・視覚提示を意識している。また、見通しをもって自らスケジュールを確認できるよう、ホワイトボードにスケジュールを記載している。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	・子どもの来所前と退所後に清掃を行なっている。退所後については、時間の都合上翌朝行うこともある。 ・常に環境整備を意識しており、清掃以外にも物品の配置等に配慮している。 ・子どもの目線に立ち、気付いた点は今後も改善していきたい。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%			
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	・定期的に振り返りの機会を設けており、多職種で参画できている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・いただいた意見をもとに、次年度の活動内容の見直しや、改善策を検討している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・支援前後のミーティングで都度共有している。 ・偏った視点とならないよう、各職員から意見や案を出してもらうようにしている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	60%	40%			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%			
適切 な 支 援 の 提 供	11	適切に支援プログラムが作成、公表にされているか。	100%	0%	・担当者が作成し、ホームページに公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）を作成しているか。	100%	0%			
	13	放課後等デイサービス計画（個別支援計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%			
	14	放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	80%	20%	・まだ不十分な部分がある。	・支援の現場で活かせるよう、職員間で共有し実践していきたい。	
	16	放課後等デイサービス計画（個別支援計画）には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	・月初めに翌月の集団活動の内容を各職員で考え、その後に職員会議で共有し、様々な視点からみでの意見や助言をもとに内容を詰めている。 ・5領域に合わせて、多職種で意見を出し合い立案できている。 ・企画する中で、分からないところや悩んでいるところは、他職員に相談しながら決定している。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	・これまでに行った集団活動でも、再度取り入れたり新しい活動を毎回取り替えている。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画（個別支援計画）を作成し、支援が行われているか。	100%	0%		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	・こどもの状態の確認や、職員の動きなどを細く打ち合わせができています。	
	21	支援終了後には、職員間で行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	・支援後には振り返りを行い、デジタル入力することで効率化に繋がった。 ・子どもの小さな気づきを共有したり、職員の支援方法で次に活かせることを共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%	0%	・不十分な部分がある。	今後は意識して行っていきたい。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	・選択する機会を取り入れるようにしている。 ・意識しているものの、まだこちら側から支援、提供できるものがあると思う。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	・事前に職員間で共有した上で、児発管が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	・必要時には連携している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	・各機関と行なっている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%	・就学前より利用があるお子さんに関しては、情報共有しているが、就学後の利用では通っていた園等と共有する機会はほとんどない。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、必要に応じてそれまでの支援内容の情報を提供しているか。	80%	20%	・必要時には共有している。	
	31	管理者・児童発達支援管理責任者が地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設け、職員間で情報を共有しているか。	100%	0%		
	32	地域の他のこどもと活動や交流する機会があるか。	80%	20%	・外に行ける日には、近くの公園へ行くこともあるため、地域の人がいる際には一緒に遊んだりすることもある。 ・屋外活動の際に地域のお子さんと接する機会がある。 ・地域のイベントに参加できる機会が少ない。 ・自立支援協議会主催の研修会には参加できている。	・地域のイベントがある際には積極的に参加していきたい。
	33	担当者が（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	80%	20%		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	40%	60%		
保護者への	36	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	・契約時には行なっている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%		
	38	「放課後等デイサービス計画（個別支援計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画（個別支援計画）の同意を得ているか。	80%	20%	・遅れての説明となることがある。	期限内に行っていきたい。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	80%	20%	・今年度は、計画したが保護者が集まらず、時期の見直しや継続的な計画が望ましいと考える。	・茶話会以外にもイベントを計画していきたい。

説明等	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する、地域のイベントに参加する等、地域に関わった事業運営を図っているか。	60%	40%		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0%	・各自周知はしているが、全体で確認する機会が必要に思う。	・定期的に見直し、全員に周知できるようにしていきたい。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）に記載しているか。	80%	20%	・記載が不十分な部分がある。	見直していきたい。